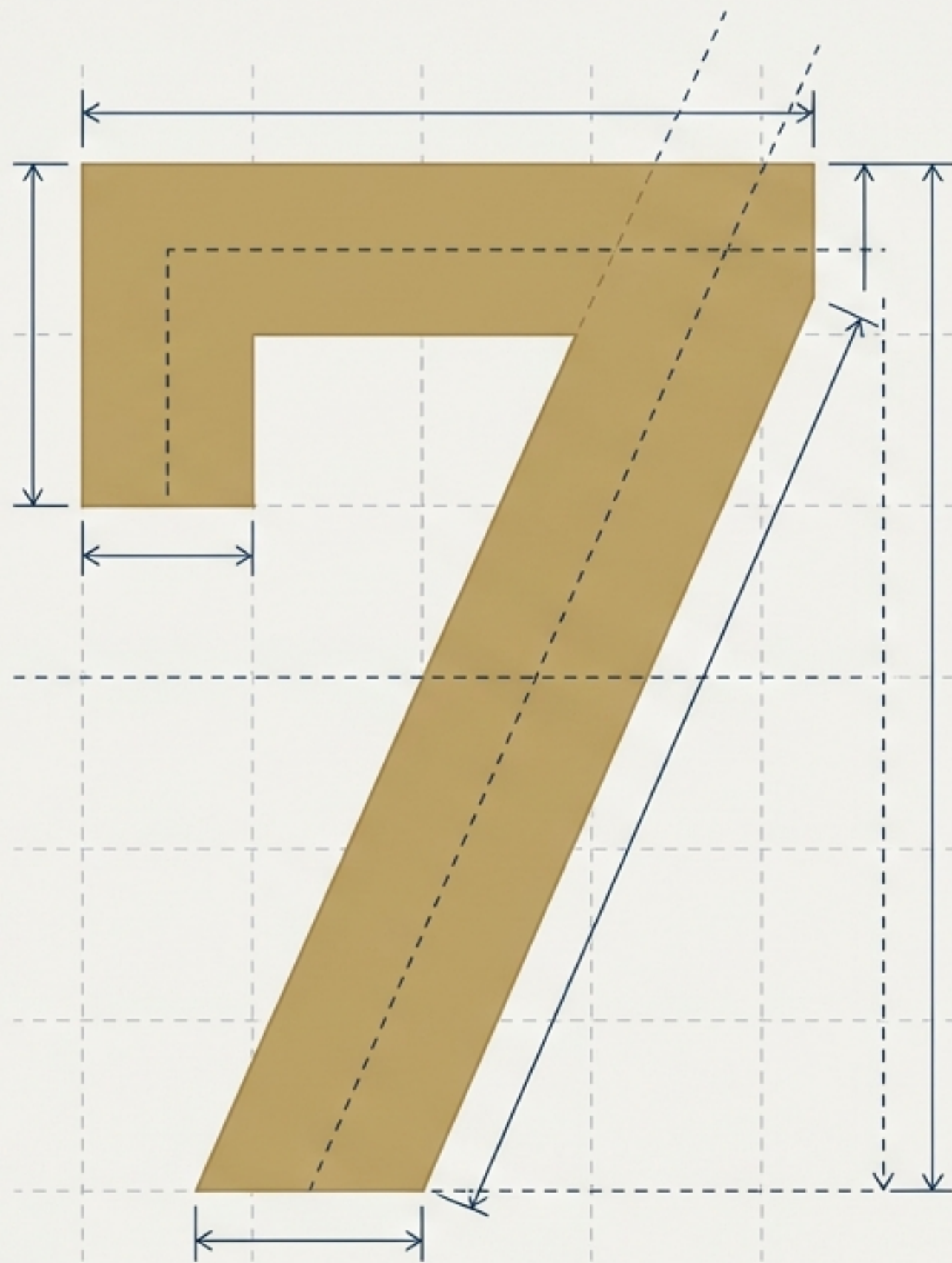
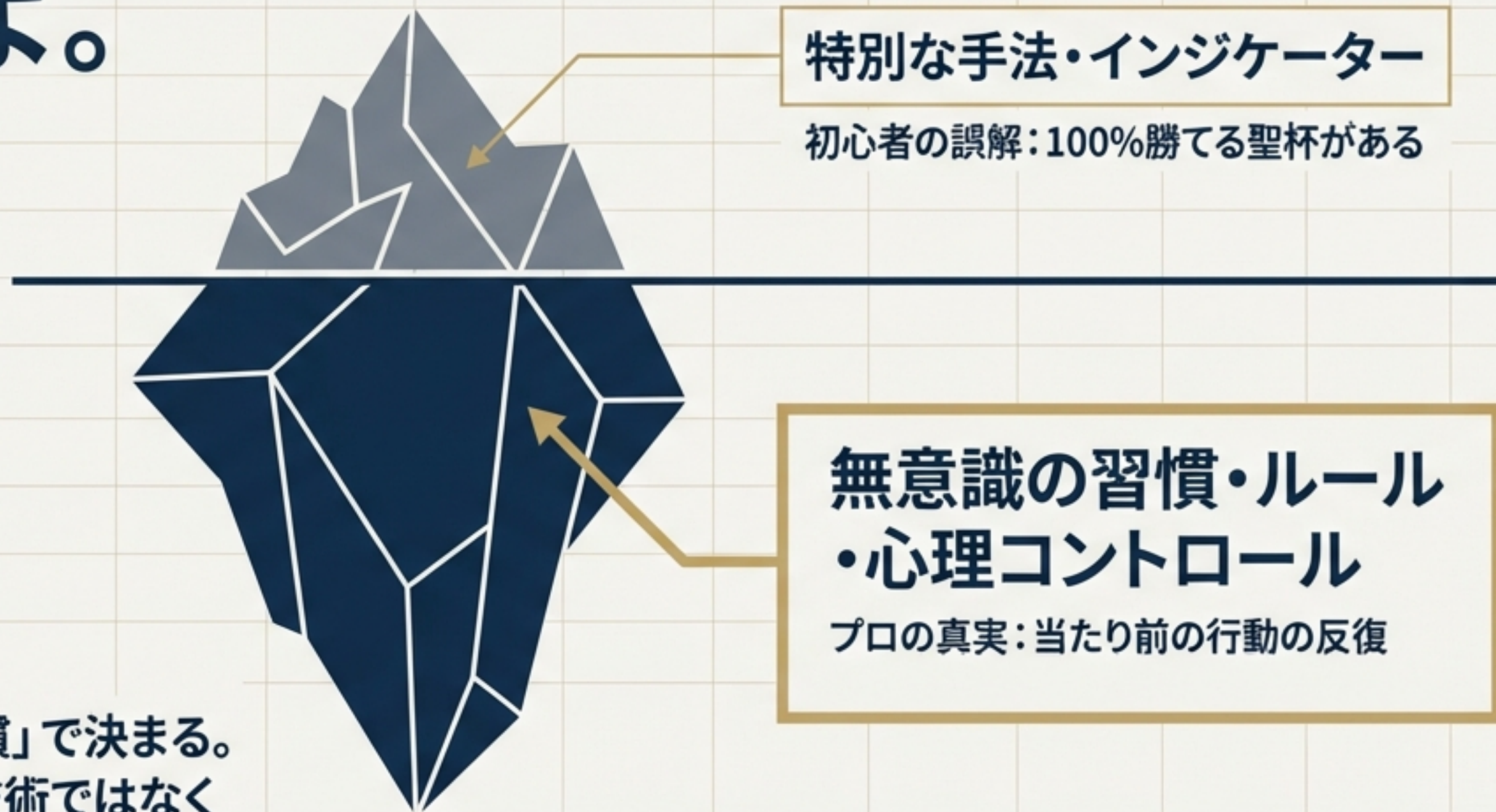


勝ちトレーダーが “無意識”でやっている 7つのトレード習慣

特別な手法や魔法のインジケータは存在しない。
当たり前のことを、当たり前続ける
プロの思考回路を解剖する。



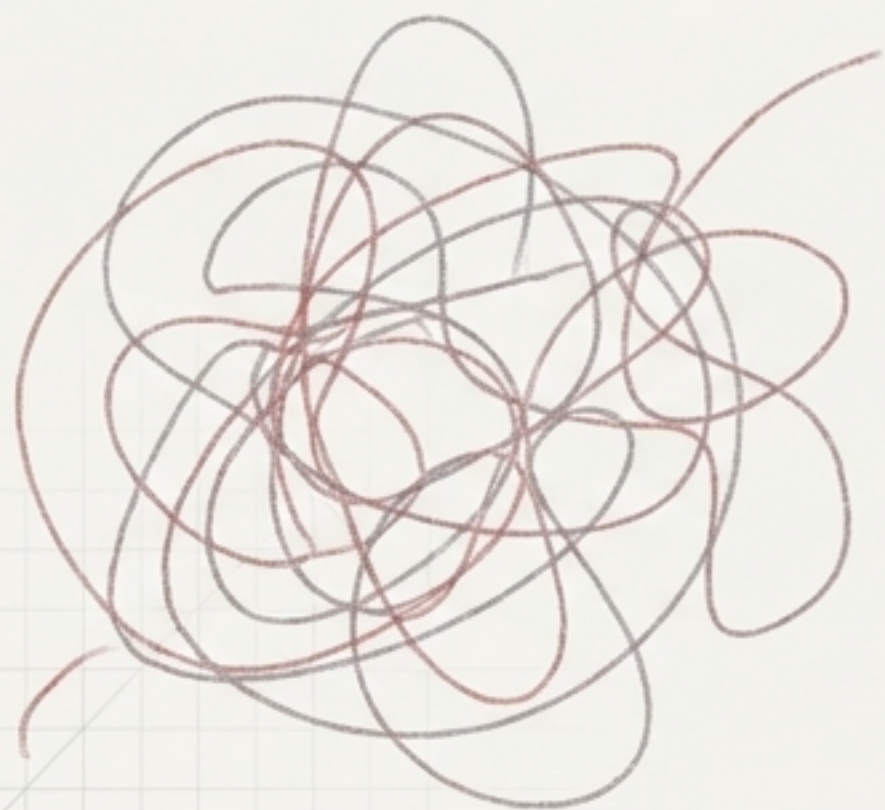
手法を探すな、 習慣を変えよ。



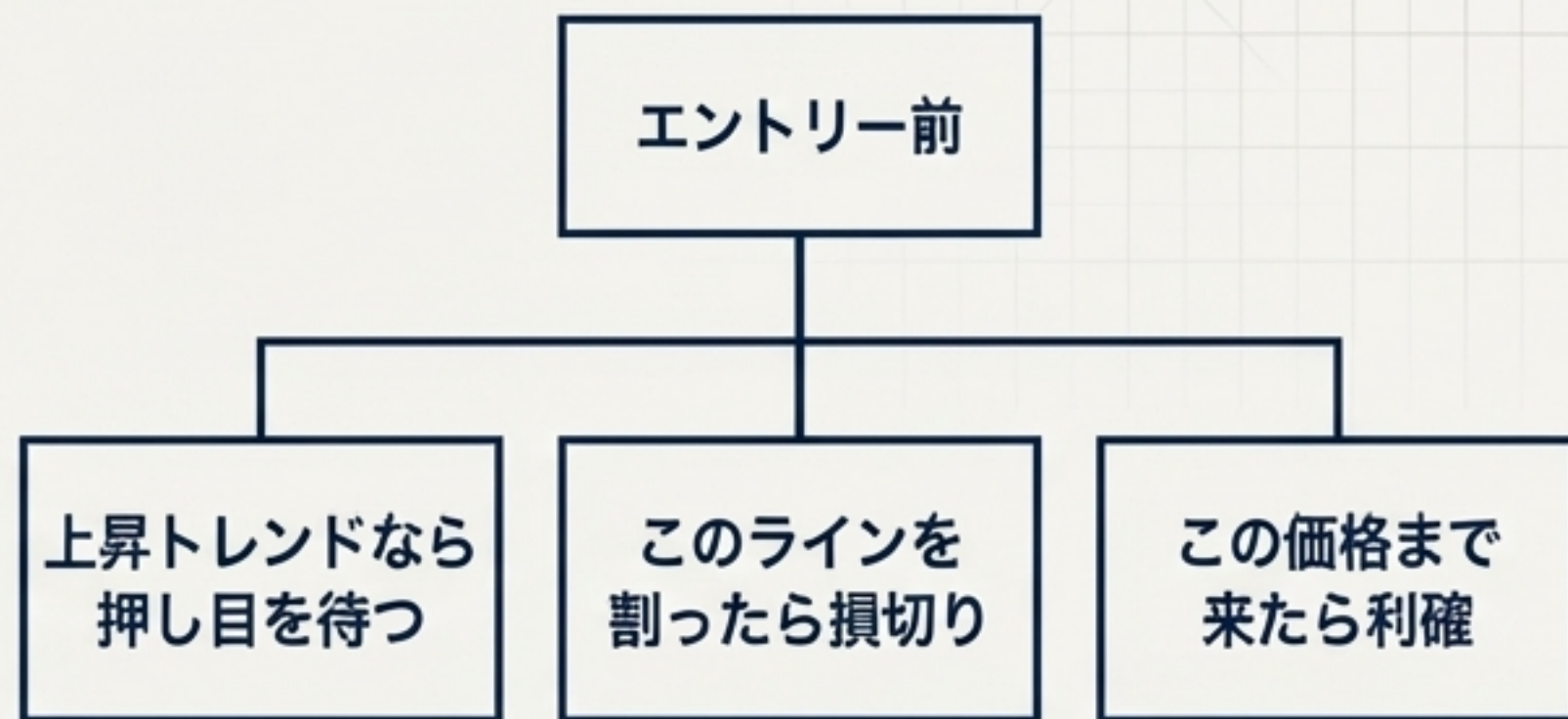
FXの結果は「手法」ではなく「習慣」で決まる。
負けている人の多くは、トレード技術ではなく
“習慣”が崩れている。

習慣① トレード前に必ず「シナリオ」を作る

行き当たりばったり (感情・反応)



事前に行動を決める (論理・計画)



勝ちトレーダーはエントリー前に必ず「どうなったら入るか」を決めている。行動は常に“先”に決める。

習慣② 損切りを必ず設定する

~~勝率100%~~



FXでは「100%勝てる手法」は存在しない。
どんなプロでも必ず負ける。

損切りは「必要経費」であり、
負けを小さくすることを最優先に考える。
祈るな、ずらすな、塩漬けするな。

習慣③ トレード回数を増やしすぎない



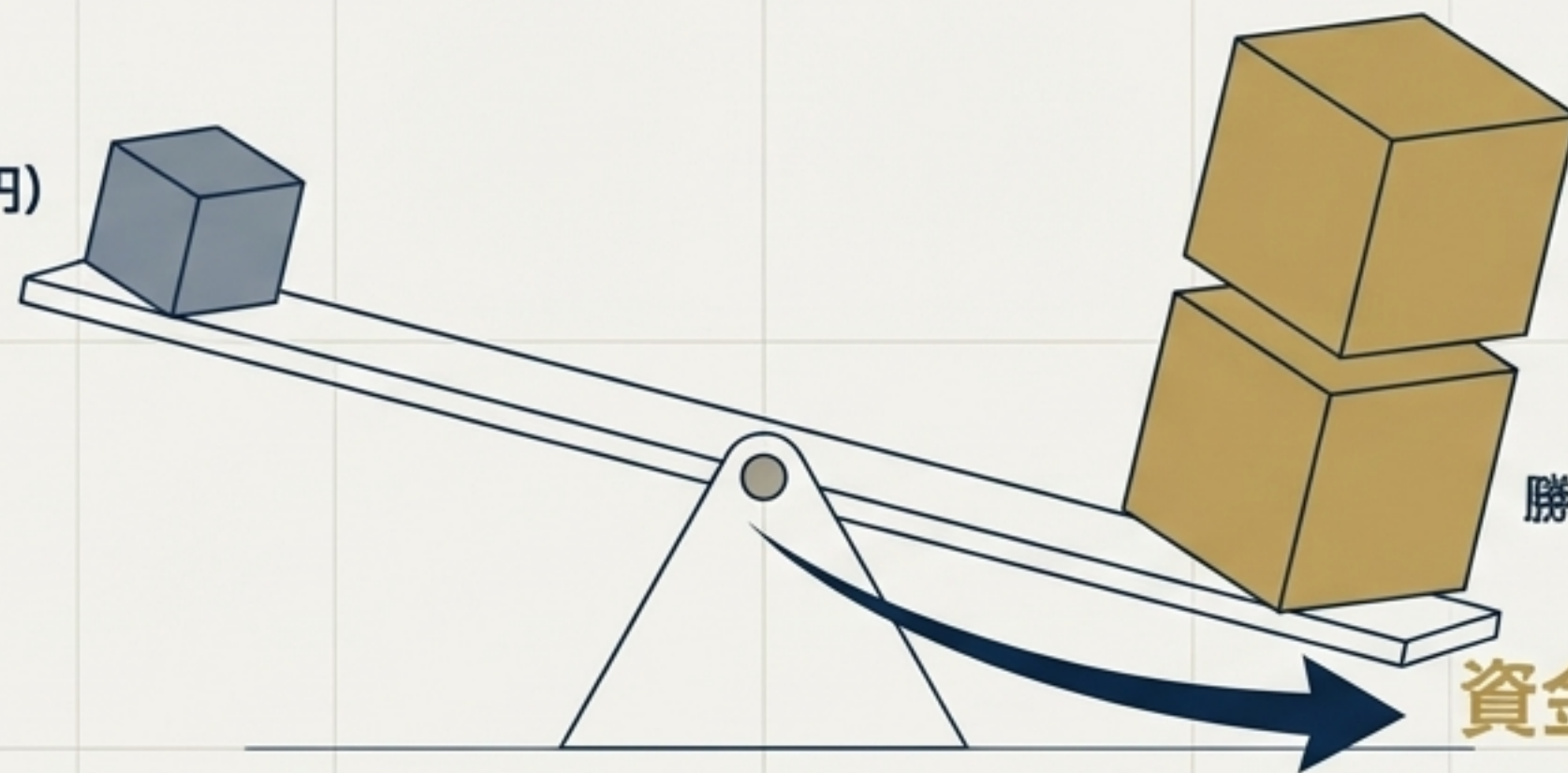
初心者は「たくさんトレードすれば勝てる」と錯覚する

トレード回数が増えるほどミスも増える

プロは「条件が揃ったときだけ」エントリーする。待つことが最大の仕事。

習慣④ 勝率よりリスクリワードを重視する 勝率よりリスクリワード」を重視する

勝率50% (敗北5回 × 損失 1万円)



勝率50% (勝利5回 × 利益 2万円)

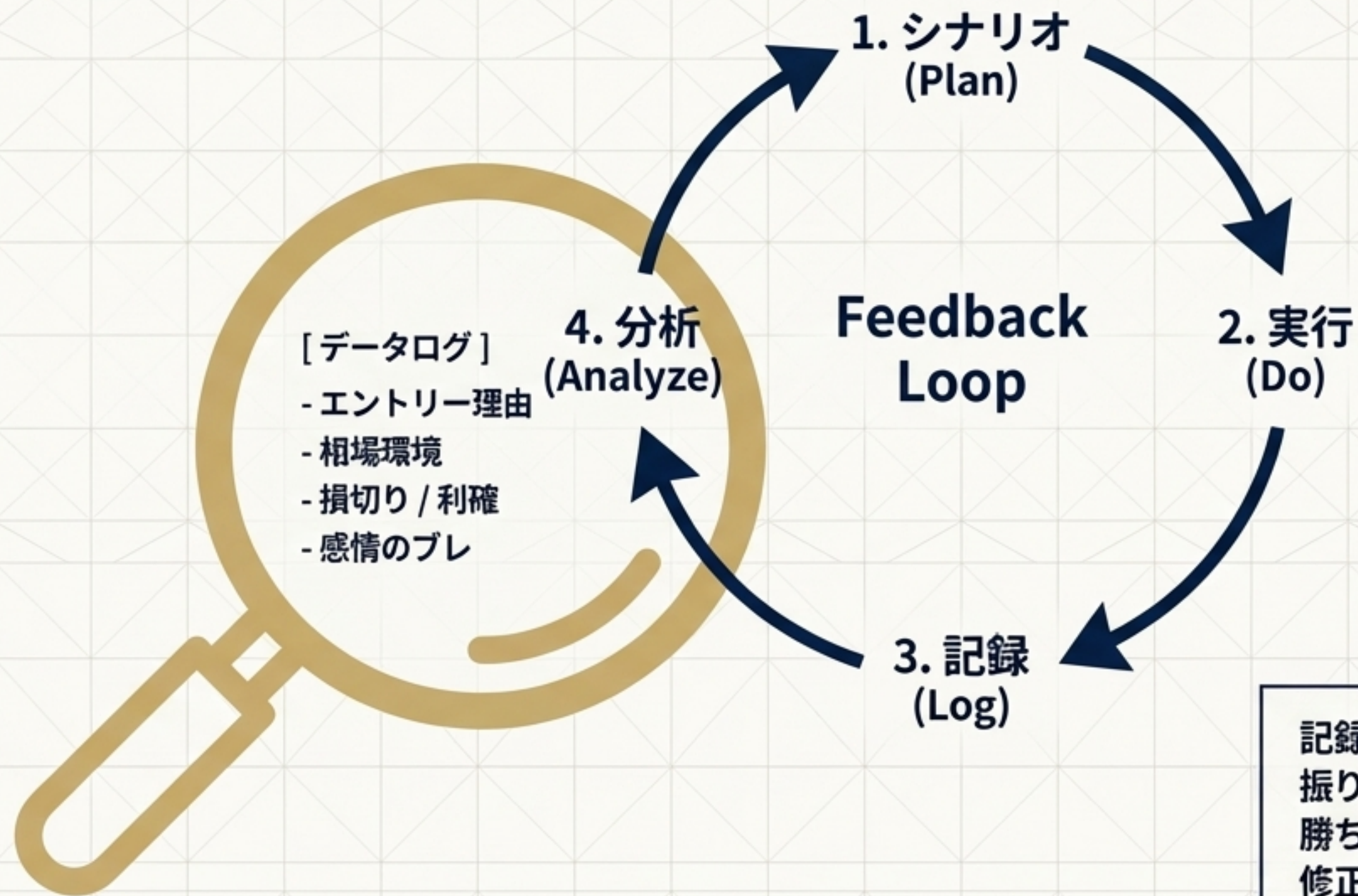
資金は確実に増える

勝率の呪縛から抜け出せ。

プロが見ているのは「損失1：利益2」のようなリスクリワード比率。

当てることではなく「利益が残る設計」こそが資金を増やす。

習慣⑤ トレード日誌をつける



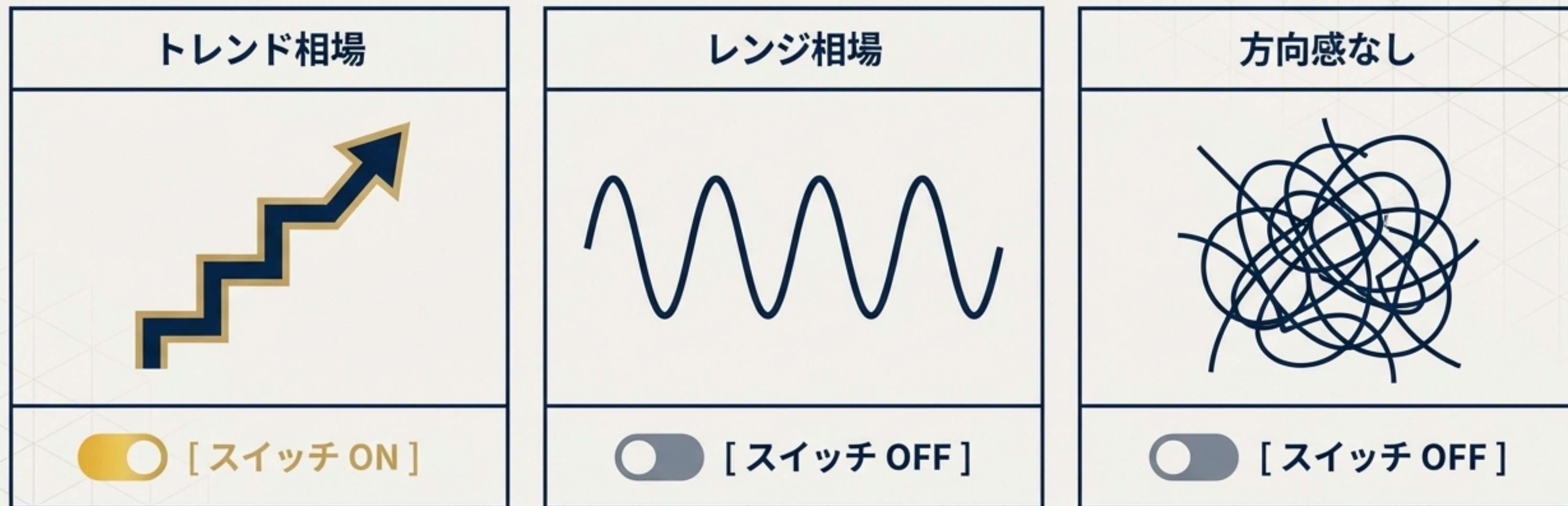
記録が「自分の負けパターン」を浮き彫りにする。振り返りなきトレードはギャンブルに過ぎない。勝ちトレーダーは必ず自身のトレードを分析し、修正を繰り返す。

習慣⑥ 感情でロットを変えない



連敗してロットを上げるのは破滅への道。
プロは感情でロットを変えず、常に一定に保つことで、
連敗期でも確実に資金とメンタルを守り抜く。

習慣⑦ 「トレードしない」 選択をする



優位性がないときは、資金を市場に晒さない。
「休むも相場」であり、参加しないことは
高度でプロフェッショナルなスキルである。

7つの習慣が構築する「強固なシステム」



7つの習慣は独立した知識ではない。互いに連動し、感情を排除して利益を残すための「一つのシステム」として機能する。特別な才能ではなく、このシステムを無意識に回せるかどうか全て。

究極の自己診断：あなたはどちらの習慣を持っているか？

[項目]	[負けトレーダーの行動]	[勝ちトレーダーの行動]
[行動基準]	行き当たりばったり	事前にシナリオを作る
[損切り]	ずらす・祈る・塩漬け	必要経費として即座に切る
[エントリー]	常にポジションを持ちたがる	条件が揃った時だけ入る
[目標]	勝率100%を求める	リスクリワード（損失1:利益2）を重視
[ロット]	負けを取り返すために増やす	常に資金の一定割合に固定
[振り返り]	負けを直視せず放置	日誌をつけ負けパターンを分析
[休む判断]	毎日トレードしようとする	優位性がなければ「何もしない」

「トレードの成功は、手法よりも心理と習慣に依存する」
— マーク・ダグラス



今日から、魔法の手法を探す旅を終わらせよう。
まずは1つの習慣を無意識レベルになるまで徹底することから始まる。